

令和 7 年度進行管理・評価シート
前橋市歴史的風致維持向上計画（令和 4 年 1 2 月 2 0 日認定）
（最終変更 令和 7 年 4 月 1 日）

口進捗評価シート(様式 1)

①組織体制(様式 1-1)		
1 関係部局との連携体制について	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式 1-2)		
1 歴史的建造物保全支援事業(1-6)	2
2 歴史的建造物修理・復元等検討事業(1-7)	3
3 景観誘導ガイドライン策定事業(2-1)		
景観計画改定事業(2-2)	4
広瀬川河畔景観形成重点地区拡張事業(2-3)		
4 天狗岩用水周辺環境整備事業(2-5)	5
5 前橋駅周辺歴史的景観向上事業(3-2)	6
6 道路美化化・高質化事業(2-4)	7
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式 1-3)		
1 大手門可視化・出土品活用事業(1-1)	8
2 前橋公園内歴史的拠点創出事業(3-1)	9
3 ヒストリックランドマーク整備事業(3-3)	10
4 群馬総社駅整備事業(3-4)	11
5 城下町・生系のまちAR・VRプロジェクト(1-9)	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式 1-4)		
1 文化財・歴史文化遺産活用事業概要	13
2 酒井氏歴代墓地整備推進事業(1-2)	14
3 文化財保存活用地域計画策定事業(1-3)	15
4 未指定建造物等調査計画策定・実施事業(1-4)	16
5 民俗芸能・祭礼行事等支援事業(1-5)	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式 1-5)		
1 世代超え 平和へ祈り	18
2 疎水の価値 創造探る		
3 前橋ならではの景観 まちづくりに活かす		
⑥その他(効果等)(様式 1-6)		
1 市民学芸員養成事業(1-8)	19
2 前橋学ブックレット発行事業(1-10)		
口法定協議会等におけるコメントシート(様式 2)	20

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

関係部局との連携体制について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 計画の策定及び推進は、まちづくり・文化振興・文化財保護に関わる部署が連携・協力して進め、関係部課長会議等により、連絡調整や実施状況の管理・評価を行う。法定の「前橋市歴史まちづくり協議会」は、定期的開催し、計画進捗や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆歴史まちづくり協議会…2回開催(R7.5.19、R7.10.8)
- ◆ヒストリックランドマーク整備事業専門部会…1回開催(R7.8.25)(詳細は③-3ヒストリックランドマーク整備事業を参照。)
- ◆歴史まちづくり推進事業関係課長協議(R7.6.19)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【前橋市歴史街づくり協議会構成員】

- 会長 手島 仁
- 副会長 戸所 隆 村田 敬一
- 委員 石井 繁紀 川端 利保 日下田 伸
川合 寿憲 片貝 早苗 高松 秀光

【第5回協議会】R7. 5. 19
令和6年度の事業実施報告及び計画の軽微変更に係る報告

【第6回協議会】R7. 10. 8
歴史的風致維持向上計画推進の方向性を確認。
前橋市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例性



第5回歴史まちづくり協議会の様子

【ヒストリックランドマーク(旧町名)専門部会構成員】

- 手島 仁、町田 悟、堀込 隆邦、松澤 正幸、奥野 角次、奈良 一男

【R7専門部会】
令和7年度に整備する旧町名案内板について事務局から説明。専門部会のメンバーからは、案内板に記載す



旧町名が使用されていた当時の写真

【R7歴史まちづくり推進事業関係課長会議】R7. 6. 19
計画に位置付けられている施策について、それぞれの所管における実施状況や令和8年度以降に実施予定の事業についてどのように行っていくか、現時点での方向性を確認した。

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
1 歴史的建造物保全支援事業(1-6)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	特定要件を満たす歴史的建造物や歴史的風致形成建造物について、外観保全に係る修理・修景に対する支援や、有形文化財の登録に必要な調査費等を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆歴史的風致形成建造物指定件数・・・実績 0件／当初計画2件 ◆歴史的風致形成建造物改修費助成件数・・・実績1件／当初計画2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の地域のあり方について、歴史的建造物の保全支援を継続し、地区学習会を開催することで、地域住民の意識醸成を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
1 歴史的風致形成建造物の指定標識の設置			
			
第4号指定標識		第5号指定標識	
2 歴史的風致形成建造物の改修費助成(内外装可、改修費の2/3、上限500万円)			
・阿久津静治家の改修(雨戸改修、外壁補修等)			
			

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 令和7年度現在の状況 (Current Status in FY2025). Item: 2 歴史的建造物修理・復元事業(1-7)

旧国立原蚕種製造所事務棟、藩営前橋製糸所、波宜亭、生糸改所など、街なかの歴史的風致に由来し、すでに滅失されたものや郊外に移転した歴史的建造物の活用方法について研究し、移築・復元の是非を含め、将来的なあり方を模索する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆前橋市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の制定
・R7.10.22~11.21パブリックコメント実施
・R8.第1回定例会に議案提出(R8.4.1施行)
◆景観計画改定に関する対話型説明会にてアンケートを実施(R7.11.22~23, R7.12.6)

進捗状況 ※計画年度との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
建造物の移築や復原については、市民や各種団体から要望等があるものの、整備手法や効果について引き続き研究を続けていく。

状況を示す写真や資料等

前橋市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例(案)について
1. 条例制定の背景
2. 条例における歴史的建築物の保存及び活用までの主な流れ
3. 条例の概要
(目的)
(用語の定義)
(1) 対象建築物
(2) 移築
(3) 増築等
(4) 保存活用計画
(5) 保存建築物
(6) 保存対象地

パブリックコメント資料抜粋

「まえばし景観」対話型説明会
あなたの景観に対する意見を教えてください
【まえばし景観アンケート】
Q8 あなたの好きな歴史を感じる建物を教えてください。
臨江閣：319件 群馬県庁昭和庁舎：134件
群馬会館：81件 赤レンガ倉庫：39件 神社仏閣37件

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
----	--------	----------------

3 景観誘導ガイドライン策定事業(2-1)、景観計画改定事業(2-2)
 広瀬川河畔景観形成重点地区拡張事業(2-3)

実施済
実施中
未着手

計画に記載している内容 平成21年10月に策定した景観計画を歴史的風致維持向上計画と連動させる形で改定するとともに、関連する各種条例を改正し、歴史的風致の維持向上を阻害する要因の規制などを盛り込む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆赤城山景観ガイドラインを策定・公表。(R7.5.15)
- ◆景観ガイドラインの色彩に関する実証実験WSを県・市・地元関係者の参加のもと実施(R7.10.20)
- ◆景観計画改定に向け、本文の作成と市民への対話型説明会等を実施した。(R7.11.22から23、R7.12.6)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和7年度の動き

- ・赤城山景観ガイドラインを策定・公表するとともに、景観ガイドラインに規定している推奨色を白色のフェンスに塗装する実証実験WSを県・市・地元関係者の参加のもと実施した。また、群馬県主導で赤城山ランドデザインの策定に向けたWSが開催された。
- ・景観計画を改定するにあたり、各地域の景観の特徴や本市の景観に対して抱いている印象についてアンケート調査を行った。
- ・広瀬川河畔景観形成重点地区拡張については、地元住民の意向も十分に確認しながら引き続き検討する。

赤城山景観ガイドライン(実証実験の様子)

白色の柵を景観配慮色(ダークグレー)に塗装する実験を行い、景観形成に与える影響を検証した。



景観計画改定(対話型説明会の様子)

前橋市の各地区の景観の特色をまとめた地区の目カルテなど、計画の改定内容を説明した。また、前橋市の景観に対して抱いている印象などについてアンケートを実施した。



評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
4 天狗岩用水周辺環境向上事業(2-5)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 世界かんがい施設遺産である天狗岩用水沿いの環境の向上のため、各種団体を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

※各団体との打ち合わせ回数、支援額などが指標となり得る。

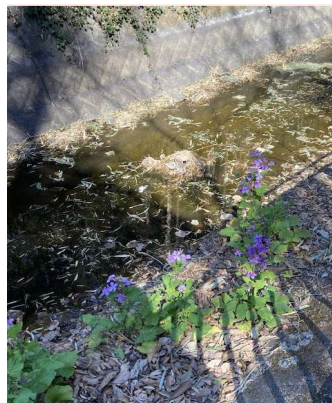
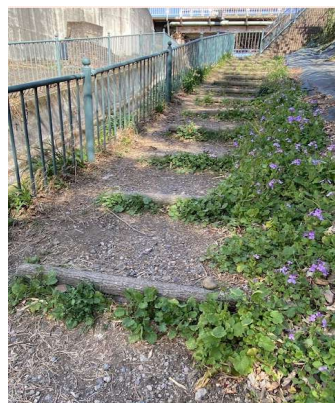
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

現時点では、総社地区自治会連合会、環境美化推進委員会、前橋市立第六中学校の生徒が清掃・保全活動をしている。
 また、有志の手により用水沿いに花大根の植栽がされ、花の咲く季節には沿道から美しい景観を楽しむことができる。
 今後も天狗岩用水周辺の良好な景観形成を維持していくために、活動団体のニーズに合う支援に繋がられ



天狗岩用水沿道の清掃・保全活動の様子



花大根の開花の様子

評価軸②-5
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
5 前橋駅周辺歴史的景観向上事業(3-2)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 けやき並木通りの起点であるJR前橋駅周辺は、都市的景観と歴史的景観が共存する「History×Urban」が具現化された地点であることから、駅周辺の歴史的景観を補強するための事業を立案する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
◆景観を活かしたまちづくりシンポジウム開催 開催日 R8.1.18 参加者116人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施の機運醸成に向けて、シンポジウムや学習会等の開催を通じ本市の歴史に関する認知度を高めていく。	

令和7年度の動き
 景観を活かしたまちづくりをテーマにシンポジウムを開催し、赤城山の稜線や都市的景観と歴史的景観が調和する本市の景観の特徴を再認識し、中心市街地で動き出したクリエイティブシティと協調しながらまちづくりに活かしていく意義を伝える契機とした。

2026
1/17(土)
 14:00~16:00
 前橋市中央公民館ホール
 (前橋プラザ元気21 3階)

【プログラム】
 1. 基調講演
 前橋クリエイティブシティプロジェクト 共同企業体 代表
 MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO 原田麻鳥

2. パネルディスカッション
 「景観が調和する都市の歴史の調和」
 赤城山の稜線と都市のスカイラインの調和〜
 原田真実 (MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO)
 三橋一仁 (群馬県都市整備部景観政策課 課長)
 高橋 健 (群馬県立女子大学 教授)
 林 朝那 (Next Generation 顧問)

参加無料 事前申込制

前橋市は、雄大な裾野を広げる赤城山を背に、利根川を広瀬川が市街地を貫通する。豊かな自然と、歴史・文化に育まれた美しい景観として発展してきました。今回のシンポジウムでは、赤城山の稜線や、都市的景観と歴史的景観が調和する本市の景観の特徴を再認識するとともに、中心市街地で動き出したクリエイティブシティ構想と協調しながら、本市ならではの景観を、まちづくりに活かす意義を伝える契機とします。

お申込み募集締切: 1/15(木) 右記コードの入力フォームよりお申込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

共催: 前橋市、群馬県、群馬県都市計画協会 お問い合わせ: 前橋市都市計画課 Tel.027-898-6974

シンポジウム概要



基調講演の様子



有識者によるパネルディスカッション

評価軸②-6

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
6 道路美装化・高質化事業(3-2)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域(総社及び総社山王地区)内の歴史を象徴する通りについて、脱色アスファルトや石畳風舗装などによる美装化や電線地中化等により、歴史情緒を高める道路整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆総社山王地区学習会・・・R7.11.29 参加人数 30人
- ◆総社歴史資料館説明員の会・・・R8.1.13 参加人数 20人
- ◆総社歴史資料館に前橋市歴史的風致維持向上計画を説明したパネルを設置

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路美装化の事業は、総社および総社山王地区の今後の方針と併せて検討する必要があるため、学習会を通じた機運醸成及び住民との協議を継続していく。

令和7年度の動き

総社及び総社山王地区内の史跡である山王廃寺跡に関する学習会を開催し、総社及び総社山王地区の持つ歴史について住民とともに理解を深めた。引き続き地区内での学習会開催を通じ、住民と協調しながら事業実施の方向性について検討を続ける。



学習会の様子



総社資料館のパネル展

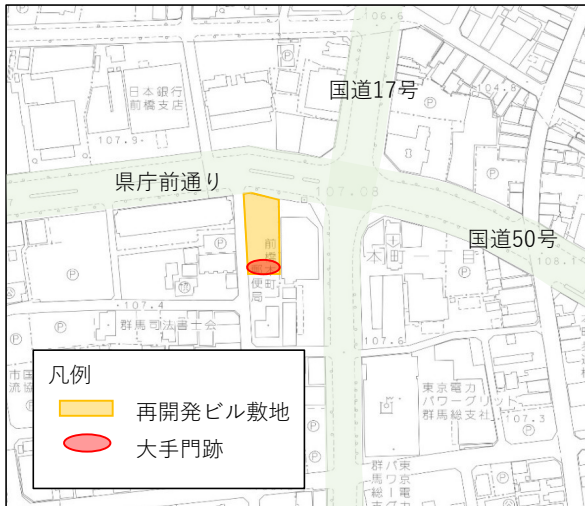


道路美装化イメージパース

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
1 大手門可視化・出土品活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度(2021)～令和7年度(2025)		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内において、民間の再開発事業に伴い発掘された「前橋城大手門」の石垣を保全するとともに、公開可能な形で整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆歴史認識の向上や歴史情緒の醸成を図るため、前橋城大手門石垣が発見された敷地内に説明板を設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



位置図



現地写真



説明板

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
2 前橋公園内歴史的拠点創出事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度(2023)～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
前橋公園の一部は幕末に再築された前橋城の城内にあることから、幕末～明治に由来する拠点施設の整備や、歴史的景観を阻害する建築物等の美装化を実施することで、重要文化財・臨江閣との相乗効果による公園の歴史性・回遊性向上、ひいては中心市街地全体の回遊性向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◆第6回歴史まちづくり協議会で、今後は大型の施設整備事業の実施についてはシンポジウムやワークショップ、学習会等の開催を通じて、市民の機運醸成に取り組むことを報告した。(R7.10.8)

◆全世代を対象にした景観計画改定に関する対話型説明会等で本市の歴史的建造物に係るアンケートを実施。(R7.11.12～12.11、回答923)歴史的建造物の認知度向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
事業実施の機運醸成に向けて、シンポジウムや学習会等の開催を通じ本市の歴史に関する認知度を高めていく。

状況を示す写真や資料等



あなたの景観に対する意見を教えてください

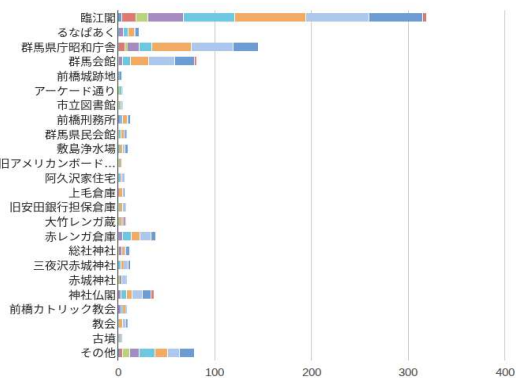
前橋市では、地域の自然・歴史・文化などが織りなす「景観」を守り、育て、活かすための基本的な方針を定めた景観計画の改定作業を進めています。
この中で、幅広い年代の意見を参考にするため、自由に参加できる説明会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

【日時・場所】
① 全世代向け説明会 日時 | 11月22日(土)～23日(日) 9:00～15:00
場所 | 前橋プラザ元京21 2階連絡通路付近 対象 | 全世代(参加無料、申込不要)
② 高校生向け説明会 日時 | 12月6日(土) 17:00～18:30
場所 | 高校生学習室(アケル前橋2階) 対象 | 高校生(参加無料、申込不要)

【開催内容】
景観パネル展示、個別説明、アンケート実施

前橋市ホームページ

前橋市役所都市計画課 Tel: 027-898-6974 toshikeikaku@city.maebashi.gunma.jp



【まえばし景観アンケート】

Q8 あなたの好きな歴史を感じる建物を教えてください。

- 臨江閣：319件
- 群馬県庁昭和庁舎：134件
- 群馬会館：81件
- 赤レンガ倉庫：39件
- 神社仏閣37件

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
3 ヒストリックランドマーク整備事業(3-3)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度(2023)～令和14年度(2032)

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光の核となる歴史的建造物を含めた街並みの質を向上させるため、前橋の歴史を象徴する建造物や構造物(ヒストリックランドマーク)等を整備し、エリア価値の向上やインバウンドの促進を図る。特に、各所へ至る案内板については、老朽化対策として旧町名の由来等を記した板面への更新や新設を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆専門部会の開催(R7.8.25)
- ◆旧町名案内板を7カ所整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

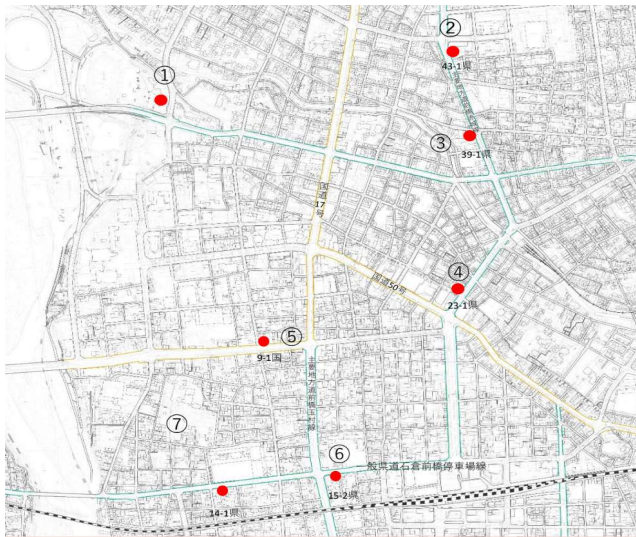
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

今後の整備を進めるうえで、クラウドファンディング等民間事業者からの出資を募るなど、官民連携の仕組みを構築する。

状況を示す写真や資料等

◆旧町名看板の整備

前年度からの継続事業として、7箇所の旧町名案内板の板面デザイン作成及び整備を実施した。



- ①柳町(やなぎまち)
- ②清王寺町(せいおうじまち)
- ③栄町(さかえちょう)
- ④榎町(えのきまち)
- ⑤南曲輪町(みなみくるわちょう)
- ⑥前代田町(まえしろたまち)
- ⑦紅雲町(こううんちょう)

案内板設置位置



設置事例：柳町



設置事例：南曲輪町

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 令和7年度 現在の状況
群馬総社駅整備事業(3-4)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度(2019)～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	JR群馬総社駅の西口開設に向け、進入路となる道路と駅前広場を整備するとともに、自由通路の設置や跨線橋の撤去等に伴う駅舎の改修を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
<ul style="list-style-type: none"> ◆用地測量、路線測量を実施 ◆西口の開設までの間の混雑緩和のため、東口のロータリーを拡張する工事を行った。 ◆駅舎・自由通路の整備について、周辺環境との調和も意識した整備となるよう鉄道事業者と協議を行った。 	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
西口駅前広場イメージパース	駅舎・自由通路イメージパース
	
<p>・令和8年度より駅舎・自由通路、駅前広場に係る設計を進めていく予定である。詳細設計は歴史的要素を考慮に入れながら進めていく。</p>	

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
城下町・生系のまちAR・VRプロジェクト事業(1-9)			現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和7年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な街並みをARで復元し、現代の街並みと重ね合わせることで可能なアプリを開発する。また、復元(復原)が困難な遺構や建造物についても二次元バーコード付きの看板を設置し、端末の画面上にバーチャル復元できるシステムを開発する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆AR,VR技術を活用し歴史まちづくりの推進を行っている先行事例を視察(白河市 R7.5.1) ◆他事業で開発中の3D都市モデル上に、歴史的建造物が再現できないか3D都市モデル開発担当の民間事業者から意見聴取を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	正確な図面が現存しない歴史的建造物の復元には、時代考証から取り掛からなければならず技術的な面でも資金的な面でもハードルが高い。歴史を取り扱った映像製作について、他市で先行して実施されている好事例を研究しながら進めていく。		

状況を示す写真や資料等



3D都市モデル上での復元イメージ

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
1 文化財・歴史文化遺産活用概要事業(1-4)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財の適切な管理を進めるとともに、整備・活用を推進して、その価値を損なうことなく次世代へと引き継ぐ。また、市民の啓発のために、各普及事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下記参照			
進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>令和7年度の動き</p> <p>【文化財指定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国史跡総社古墳群二子山古墳の追加指定にかかる意見具申を行った。 ・「稲葉家文書および関連資料一式」を市重要文化財に指定した。 <p>【文化財調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期5年目となる上野国府等範囲内容確認調査では、官衙関連施設の検出を目的として3地点合計301㎡の調査を行った。 ・市天然記念物「沼の窪のザゼンソウ」の生息範囲回復のための調査を実施。 ・指定候補物件である「稲葉家文書」の調査を実施。 <p>【普及啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粕川歴史民俗資料館(春季: R7. 4. 26~8. 31、秋季: R7. 10. 25~R8. 3. 1) 春季・秋季に企画展を開催し、併せて学識経験者による関連講座を実施。 ・前橋・高崎連携事業文化財展(R8. 1. 17~1. 25、1. 31~2. 15) 各回テーマを定め、両市の所有する重要な文化財を展示し、文化財への理解を深め活用を図る。令和7年度は「馬来たる！」を展示タイトルとした。 ・赤城山ろく里山学校(R7. 7. 26、11. 29) 赤城山の豊かな自然と文化財を活用し、地域の自然や文化を学ぶイベントを開催。 ・まえばし古墳の教室 夏季休暇期間中に実施している子ども向け考古学教室は「埴輪・土偶作り」「勾玉づくり」「古墳ジオラマ作り」「管玉作り」の4コースを開催。大人向けの考古学教室は冬季に開催し、「埴輪作り」「古墳ジオラマ作り」「古代鏡のチョコレート作り」を実施。 ・文化財探訪(R8. 2. 21) 本市に所在の「総社古墳群」と吉岡町の「南下古墳群」等を巡り、両地域の古墳文化を比較しながら学ぶバスツアーを実施。 ・大胡城を囲む史跡巡りガイドツアー(R7. 10. 26、12. 14) 大胡城跡を中心とした大胡の名所を徒歩で巡るガイドツアーを開催。 ・蚕糸記念館(R7. 5. 10、5. 17、11. 1) 春のばら園まつり、秋のバラフェスタにあわせて、富岡製糸場世界遺産伝道師協会に依頼し、座繰体験と桑の木クラフトを開催。 ・新出土文化財展2025(R7. 10. 28~11. 9) 臨江閣西洋間を会場に令和6年度に実施した発掘調査の成果を速報的に展示。 			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
2 酒井氏歴代墓地整備推進事業(1-2)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	大珠山是字寺龍海院の敷地内にある酒井氏歴代墓地における危険箇所の修理等に対し、技術的・財政的な支援を行う。また、移封した後の藩主も含めた歴代の墓が揃う極めて貴重な史跡であることから、その価値を明らかにすべく各種調査・事務手続きを進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
◆寄附受入のための相続登記に必要となる測量費の予算要求を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

令和7年度の動き

- ・寄附受入のための相続登記に必要となる測量費の予算要求を行った。
- ・引き続き寄附などの諸手続きのための条件を整理し、時機を見て手続きを進める。



酒井氏墓地 (北から)



酒井氏墓地 (9代 酒井忠恭)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
3 文化財保存活用地域計画策定事業(1-3)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定・未指定に関わらず、文化財を幅広く捉え、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて総合的に保存、活用していく市の基本的な考え方や文化財保護行政の方向などを示した「文化財保存活用地域計画」の策定を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆前橋市文化財保存活用地域計画協議会の開催・・・3回開催
- ◆文化財専門職員の採用・・・R7年度に文化財専門職員の採用募集を行った。実績1人/計画1人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・建造物悉皆調査については、予算化に向け、財源を確保するなどし粘り強く要求を続ける。 ・計画の策定体制の確立

状況を示す写真や資料等

令和7年度の動き

- ・令和7年4月 計画策定に向けた実施起案を作成し、協議会設置要綱を策定。
- ・補助金の内示を受け、令和7年度文化芸術振興費補助金の交付申請書を提出。
- ・前橋市文化財保存活用地域計画協議会を開催。併せて協議会委員の委嘱。
(第1回:5/23、第2回:10/30、第3回:2/16)
- ・計画素案に係る文化庁協議を実施。(第1回:11/5、第2回:3/11)
- ・市民アンケートの実施(11/1~12/31)。
- ・未指定文化財リストの取りまとめ。



文化財アンケート

『地域のお宝』
募集します!

期間 2025. 11.1 土 ~ 12.31 水

現在、前橋市では「前橋市文化財保存活用地域計画」を策定中です。この計画では、龍江閣のような指定文化財だけでなく、未指定の文化財も含めて、保存・活用を計画的・継続的に進めることを目指しています。

市内各地域には、まだ知られていない、指定の価値があるかもしれない文化財が残っている可能性があります。また、文化財の定義は人それぞれであり、認識の幅が広がることが文化財の保存・活用につながります。

地域計画の基礎資料とするため、一般的な文化財に限らず、お祭りやお地蔵さん、景、風景など身近なものを含めて、地域にとって大切なお宝の情報を広く募集します。

スマホで写真を撮り、投稿フォームから必要事項とともに、私たちに情報をお寄せください。

お宝の名称など

内容や由来、大切に思う理由

お宝の場所

自動計測または地図から選択

お宝の写真

撮影またはライブラリから選択

アンケート回答は下記コードからお願いたします。

お問合せ ☎ 027-280-6511
前橋市教育委員会事務局文化財保護課

回答はこちら

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
5 民俗芸能・祭礼行事等支援事業（1-5）		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 未指定文化財を含めた民俗芸能や祭礼・地域行事などに対し、活動そのものの支援のみならず、必要に応じて学識経験者の指導・助言を得ながら、調査・記録、情報発信を支援し、将来に向けた保存・継承、担い手の確保、地域の活性化を促進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆第51回前橋市郷土芸能大会を実施した。(R7.11.22 来場者数 400人 出演 5団体)
- ◆各地域の伝統芸能保存のため、神楽、獅子舞、囃子、古謡語り物等の祭礼奉納行事を実施した。
- ◆新陰流流祖祭を開催した(R7.11.8)※隔年開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の過疎化、保存会員の高齢化に伴う、次世代の担い手確保が困難になっている。限られた経費の中で保存活動をしているところが多いため、活動補助費の確保及び広報を主体に支援予定である。

状況を示す写真や資料等

令和7年度の動き
各地域に伝わる伝統芸能や神社に古くから伝わる太々神楽を、多数集客しての演能形成で披露することで、本市の伝統芸能や歴史文化の発信や、伝統芸能に携わる市民の技術向上に寄与した。

第51回前橋市郷土芸能大会



新陰流流祖祭



評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和7年度 掲載紙等
①世代を超え 平和へ祈り	令和7年8月6日	上毛新聞
②疎水の価値 創造探る	令和7年9月4日	上毛新聞
③前橋ならではの景観 まちづくりに活かす	令和8年1月18日	上毛新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
状況を示す写真や資料等		
歴まち関係記事については、市民の歴史認識の向上や啓発効果も考えられることから、計画の進捗に好影響があると言える。		
新聞記事の内容(抜粋)		
①米軍の爆撃で市街地の役8割が焦土と化し、535人が犠牲となったとされる1945年の前橋空襲から80年を迎えた5日、前橋市内各地で慰霊行事が行われた。市は今年から8月5日を「まえばし平和記念の日」と定めた。戦争を経験したお年寄りから子供まで幅広い世代が犠牲者を追悼し、平和への祈りをささげた。(中略)市街地に残る空襲の痕跡などを巡る市主催のバスツアーには市内外の20人が参加。4月に開館した前橋空襲と復興資料館(南町)では、米軍がターゲットと定めた「爆撃照準点」(前橋中央通り商店街内)の位置や空襲による焼失区域を示す地図などを見学した。		
②人々の生活に欠かせない「疎水」をテーマにしたフォーラムが3日、前橋市の日本トーターグリーンドーム前橋で始まった。約500人が講演や対談に耳を傾け疎水の価値や取り巻く状況などについて理解を深めた。群馬地域学研究所代表理事の手島仁さんが「広瀬用水の歴史」をテーマに講演し、農林水産省職員は疎水の情勢を報告した。		
③前橋ならではの景観をまちづくりに生かす意識を考えるシンポジウムが17日、市中央公民館で開かれた。約100人がパネルディスカッションを通して市の個性への理解を深めた。「マウントフジアーキテクツスタジオ一級建築事務所(東京)の原田真宏さんが登壇した。盛岡市職員や県立女子大教授、NPO法人の職員と「前橋ならではの景観」をテーマに意見を出し合った。(中略)原田さんは「日常生活の中で遠くの山並みが見えるまちはなかなかない。整備されきっていないところも魅力」と語りかけた。市と県、県都市計画協会が共催した。同事務所の原田真魚さんによる基調講演もあった。		

評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目

1市民学芸員養成事業(1-8)、前橋学ブックレット発行事業(1-10)

「前橋学」の担い手となる人材を育成するとともに、歴史資料調査や歴史観光ガイドなどの実践の場を提供する。特に、歴史観光ガイドについては、ガイドスキルの質的向上と平常化に向けたガイドマニュアルを整備する。前橋の誇れる先人、素晴らしい自然、埋もれた歴史を後世に語り継ぐため、前橋学ブックレットを発行する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本事業は、歴史的風致維持向上計画策定前から実施している事業であり、同計画の礎となった事業である。前橋学ブックレット発行事業により市内の歴史を掘り起こし、また、市民学芸員を養成し、市民が自ら住まう地の歴史を伝えることは、同計画の進捗に好影響を与えていると評価できる。

◆認定した学芸員・・・27人
◆発刊したブックレット数・・・4冊

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

◆市民学芸員養成講座
第11期前橋市民学芸員養成講座を令和7年5月から8月までに15回にわたり、実施した。講座は前橋ゆかりの著名人や歴史上の人物、出来事等をテーマに、各回に合わせたスペシャリストによる講演を受講するとともに、市民学芸員に必要な実技演習を行うという内容となっている。



◆前橋学ブックレット発行事業
「萩原朔太郎生誕130年記念トーク スター経営者、朔太郎の孫と詩を語る」、「前橋藩士・遠藤鏘平と謹承」、「資料集 鈴木貫太郎・孝雄と前橋」、「前橋空襲・復興と戦争体験記録シリーズ3 角田佳一の見た戦前・戦中・戦後」の4冊を発刊した。



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第7回前橋市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和8年〇月〇日	
(コメントの概要)	
(今後の対応方針)	